

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 30 年 4 月 20 日

事務事業名		農業集落排水施設維持管理事業				事業区分		担当		
						新規/継続	継続	事務事業No.	050503000129	
		政策体系上の位置付け				単独/補助	単独	所属課	070101	
政策体系	総合計画の施策名	0505 下水道の整備				主要事業		下水道課		
	政策名	05 快適な暮らしのまちづくり				市長マニフェスト				
	施策名	05 下水道の整備				未来PJ事業		グループ 工務・浄化槽G		
	手段名	03 ③安定した経営				合併建設計画事業				
		財務会計上の位置付け				事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	農業集落排水事業特別会計			
	04	01	01	01	02	00	農業集落排水施設管理事業			
法令根拠							単年度繰返し (年度~)			
						期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入				

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
手段	①事務事業の概要(事務事業の全体像) 農業集落における生活環境の向上を図るため整備した農業集落排水処理施設の維持管理を行う事業。 【市内8カ所の処理場概要】 岩瀬地区3カ所(南飯田地区、富谷地区、長方地区) 大和地区2カ所(大国西部地区、高久地区) 真壁地区3カ所(源法寺地区、谷貝南地区、谷貝北地区)
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 ①施設及び中継ポンプの維持管理(施設8カ所、中継ポンプ171箇所) ②施設管理の委託契約業務作成(施設、電気工作物、汚泥引抜、消防設備) ③委託業者との連携した維持管理(施設管理、汚泥管理等) ④施設修繕 ⑤緊急対応(24時間対応)

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
・中継ポンプ及び施設管理(巡回、メンテナンス業務) ・電気工作物(通常点検月1回、総合点検年1回) ・消防設備点検(年2回) ・コンポスト肥料の生産管理(谷貝北地区) ・緊急対応(24時間)	保守点検委託の件数	件	8.00	8.00	8.00	0.00	0.00
	使用人数	人	6,600.00	6,650.00	6,700.00	0.00	0.00
	補修の件数	件	39.00	52.00	25.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
農業集落排水処理施設	施設数	施設	8.00	8.00	8.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
適正な管理を行い、水質保全を図る。	苦情件数	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入量	事業費	内訳	単位	28年度	29年度	30年度	期間限定 総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)	
	財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	105,611	94,963	10,634	94,800
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	2,774	17,774	165,062	-83,200
	事業費計(A)	千円	108,385	112,737	175,696	11,600	
人件費	正規職員従事人数	人	2.00	2.00	2.00		
	述べ業務時間	時間	1,337.00	1,150.00	1,150.00		
	人件費計(B)	千円	3,911	3,364	3,364		
トータルコスト(A)+(B)			千円	112,296	116,101	179,060	

事業費の内訳	29年度事業費 実績(千円)			30年度事業費 予算(千円)		
	11 需用費	52,770		11 需用費	38,573	
12 役務費	792		12 役務費	922		
13 委託料	47,618		13 委託料	70,698		
14 使用料及び賃借料	364		14 使用料及び賃借料	364		
15 工事請負費	5,850		15 工事請負費	55,000		
16 原材料費	70		16 原材料費	72		
19 負担金補助及び交付金	58		19 負担金補助及び交付金	58		
27 公課費	5,215		27 公課費	10,009		
	合計	112,737		合計	175,696	

(4) 当該年度の実施内容

※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する	30年度の事業内容	31年度の事業内容	32年度の事業内容
<ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 			

事務事業名	農業集落排水施設維持管理事業	事務事業No.	50503000129	所属課	下水道課
-------	----------------	---------	-------------	-----	------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？

【経緯】
平成4年以降に、農業集落における生活環境の向上を図るため施設を整備してきた。
【5年前との比較】
接続者数は、横ばいで推移している。
経年劣化により機器の故障が、増加しつつある。

(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？

中継ポンプ場の異物詰まりなどの一時的な故障に対する早急な対応（異物詰り等）
管理コストの低減化

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

改革改善を行う	維持管理費削減 ・費用をかけずに成果を維持するようするために、現状の委託業務内容を密にチェックし、削減できる部分を洗い出す必要がある。 設備修繕の計画作成 ・設備故障の増加に対し、厳しい財政状況下において修繕予算を増やすのが困難である。したがって、故障した設備の役割や修繕の緊急性を見極め、優先順位を明確にした修繕計画を立てなければならない。
---------	--

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 汲取りや単独浄化槽から農集排に接続することにより、悪臭や害虫の発生がなくなり、生活環境の向上を図っている。生活雑排水の適切な処理により、水路・河川や霞ヶ浦の水質保全に努めている。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 河川や湖沼等の公共用水域の水質保全のためには必要な事業である。
	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 現状の維持管理で、水質基準を達成できている状況である。
有効性	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ライフラインの停止を招き、大きな影響を及ぼす。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業として公共下水道事業があるが、4市と県で流域を形成しており、連携するためには污水处理の計画の見直しや認可取得等の手続きが必要であり、農集排を接続するまでに膨大な時間がかかる。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 供用開始後の経過年数が増加しており、設備の故障頻度も上がってきているため、維持管理面で事業費・業務時間の増加傾向にある。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 整備された地域内で平等に受益機会がある。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）														
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	限られた予算の中で修繕を行っているが、故障箇所全てを修繕するのは難しい状況である。今後も経年劣化による各設備の故障の増加が見込まれる中、優先順位等を見直し、適正な修繕計画を立てなければならない。														
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）														
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		（複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる														
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		成果	向上				維持				低下			
成果	向上															
	維持															
	低下															
		(6) 事務事業優先度評価結果														
		成果優先度評価結果														
		コスト削減優先度評価結果														

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A：継続（現状維持） <input type="checkbox"/> B：継続（改革改善を行う） <input type="checkbox"/> C：終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>